

【研修委員会 事業計画】

委員長:菊池平

国際協議会では1週間英語による合宿を経たパストガバナーが2名、研修リーダーとなり、ガバナーエレクトの研修を約1週間に亘って面倒見良く研修されるわけです。そこでの1週間でガバナーエレクトは皆「目からウロコ」の体験をして、ガバナー年度を迎える次第です。

それに倣って地区にも研修リーダーが誕生して、ガバナー年度が終了と同時に次次年度地区研修リーダーになってきて、今年度は山下 PG が就任されました。クラブにも研修リーダーの組織が出来て任務もはっきりしています。

地区研修委員会副委員長の川平先生に教えていただきましたので書いてみます。

クラブ研修リーダーの任務

1、クラブ理事会がクラブの長所やベストプラクティスを取り入れた独自の「クラブリーダーシップラン」を作るべく、会員に対し以下の研修を企画し、クラブが実行できるよう進言する。

- 1、ロータリーの歴史の紹介
- 2、ロータリー用語の周知
- 3、クラブ定款とクラブ細則の周知
- 4、クラブ活動の意義の討論
- 5、RI 及び地区の動向に関する情報の紹介

2、クラブ会員のための研修会を主宰する。

3、RLI(Rotary Leadership Institute:ロータリーリーダーシップ研究会)への参加

現在は委員長として、小卓話を毎週掲載して参りました。Web 上の例会ですから、なるべく読みやすいようにと、心がけてきました。

難しい話を、判りやすく、判りやすい話をより深く～ということです。

難しい話はいくら名文でも、しっかりと読まれ難いものです。また長文でも読まれにくいものです。

3分情報は廣田委員に毎週執筆していただいております。我がクラブはその特殊性のために、一同に会しての例会・学習会・親睦会などの機会に恵まれませんから、活字による発信がもつばらの情報伝達手段となります。ありがたいことに、必ず見て-読んで、感想をコメントすることで、一方通行ではない良さが、また反応も早いという利点があります。

委員会としては上記に則りWeb上で進めて参ります。

予算はありませんので、集合研修などは、都度検討して参ります。

どうぞ、ご意見下さい。

【ロータリー3分情報 No5 「ポール・ハリス 最初で最初でない会長」】

報告者: 研修委員会

この一見して矛盾と見える言い方は、容易に説明が出来るのです。ポール・ハリスは1905年にシカゴで最初のロータリー・クラブを組織した創立者でしたが、その最初の会長に選ばれた人はこのクラブの創立会員のうちの別の、即ちシルベスター・シールだったのです。1910年までに16のロータリー・クラブが結成され、これらが全米ロータリー・クラブ連合会と称する団体として発足したのです。2年後この名称はロータリー・クラブ国際連合会に変更されましたが、それはロータリー・クラブがカナダのウィンニペグで組織され、その後、英国、アイルランドそれからスコットランドで結成されたからです。その後、英国、アイルランドそれからスコットランドで結成されたからです。1922年になってこの名称は短く国際ロータリーに縮小されました。1910年に最初のロータリー・クラブの全米組織が創設された時に、その初代会長に選出されたのがポール・ハリスです。そういうわけで、このロータリー精神の提唱者で、その最初に生まれたロータリー・クラブの会長になるのを辞退したこの人が、国際的な組織に発展した国際ロータリーの初代会長になったのです。